

## 【各称】風溯船

### 理論証明モデルの予約販売受付先約 100 台

風力を利用する船の改革を目的とし、貴方自身の手で実用化下さい。

0.7M 立方形

重さ約 5KG

ラジコン操縦

価格 25 万円

組立キット PAT ライセンス付

#### 精細な説明

風力を利用する船の歴史は古い。近世になり三角帆のヨットの出現で風上にも進める様に進歩したが動力機関の発達によりその実用性はなくなり今はレジャー用にしか存在しない。

しかしながら地球温暖化防止の為には洋上に豊富に存在する風エネルギーを海上輸送に利用しないのは合理性に欠ける。

幸い現在は効率の良い水平軸プロペラ風車が開発され実用的風車発電機として広く使われている。

この高効率の根拠は翼形の揚抗比に起因する。現在実用のプロペラ風車のそれは実に 20 倍である。理論上は船を押し戻そうする風の力の 20 倍の推力を得られる事に等しいのであるが実際上は数倍と理解願いたい。

風力を回転力に変換しその推力で船を進めるのであるが洋上にはもう一つのエネルギー源である太陽光が存在する。この電力とのハイブリット化はスクルー推進機を持つもう一つの利点であり容易である。

風に真っ向から溯る船は既に幾多の実証例がある。しかし風の速度を追い越せない。つまりスピードが出せない。と言う事が定説になっていて研究者は霧散している。

私の PAT の根幹は自走風（アパレント、ウインドウ）に正対せず自然風（真風）にのみ正対するプロペラ風車船を作れば風の速度を追い越せる船速度を得られる。が特許である。アビーム（横風走行時）の船速はその3乗に比例する造波抵抗により小型艇での実証は不可能であり個人では資力に枯渇を来す。本広告の理由は貴方様の手はこの開発を委ねたくここに国の内外に同志を募る次第であります。深謝